

サイ波動薬通信

www.vibrionics.org

病める人、打ちしおれた人、落胆した人、疾患に苦しむ人がいれば、まさにそこにあなたの奉仕の場があります・・・シュリサティアサイババ

第6巻 第5号

2015年9・10月

目次

☞ アガルヴァル博士の研究デスクより	1 - 2
☞ コンボを使った処方例	2 - 14
☞ 実践者プロフィール	15 - 22
☞ 質疑応答コーナー	22 - 23
☞ マスターヒーラーからの御言葉	23
☞ お知らせ	23 - 24
☞ 付記	24 - 28

☞ アガルヴァル博士の研究デスクより ☞

実践者の皆様、

90周年生誕祭への誘い

サイ波動薬実践者のみなさんにとっても大切なお知らせをまず申し上げます。ご存じのように、11月23日は敬愛する主であるバガヴァン・シュリ・サティア・サイババ様の90周年生誕祭あたります。この喜ばしい吉祥の日に、サイ波動薬チームはスワミに処方実績報告書をお捧げしようと思ひます。実践者全員のみなさんからの処方例を歓迎いたしますので、よろしくお願ひいたします。この処方実績の奉納は、私達の全て患者さん全てにとって、真の癒し手であるスワミへの愛の現われとして行われるものです。

90周年生誕祭はまた、スワミの道具としてスワミへの帰依を表明する貴重な機会でもあります。スワミへの感謝を表明する手段として、スワミが私達に託された奉仕活動の成果を主に捧げることにまさるものがあるでしょうか？

次号の波動薬通信は90周年記念生誕祭特別号として、全ての実践者のみなさんの参加を歓迎いたします。みなさんから寄せられる処方例を掲載いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。全ての国、全ての地域からの参加を願っています。できるだけ多くの処方例を掲載する予定ですが、それらの処方例は完全な形式を備え、締切までに提出していただいたものに限らせていただきます。期限後に届いたものについてはそれ以降の通信で取り上げていきます。どうぞ、出来るだけ早急に、処方例を

news@vibrionics.org宛、お送りください。通常出会うことの多い、典型的、基本的な処方例もまた特別なケースと併せて歓迎いたします。みなさんの側では、報告する処方例の情報が完全な要件を備えていることに全力を注いでください。そうしていただくことで、こちらの時間と作業が省けます。情報の完全な要件の確認のために、こちらでチェックリストを作成しました。詳細については、波動薬ウェブサイト内の [click here](#) (ここをクリックしてください) から知ることができます。(最初に、まず、自身のユー

ザ一名とパスワードを使って、波動薬のサイト www.vibrionics.org にログインしてください。もし、何か不明な点がありましたら、news@vibrionics.org までお問い合わせください。

提出期限は10月10日までとします。期限は厳守でお願いいたします。この期限を設けることで、実際の奉納と通信の発行の前までに、こちらでの編集の時間と校正、足りない情報等に対するフォローアップが可能となります。提出期限ぎりぎりまで待って戴く必要はありません。みなさんからの提出が早ければ早いほどこちらでの作業は時間的な割り振りが楽になります。この貴重な機会への注力を、全ての実践者のみなさんへ心からお願いする次第です。

ケララ州の実践者によるセヴァに対する御礼

ケララ州の世話人と実践者チームに深い御礼を申し上げます。奉仕活動のためにプラシャンティニラヤムにまで特別な行程を組まれ108のコンボボックスの組み立て製作（あまり知られていませんが、この、波動薬の奉仕に必須のボックスの組み立て作業はかなりの労力を必要とします）、データの収集、サイ波動薬実践者国際協会（International Association of Sai Vibrionics Practitioners 〈IASVP〉）の会員IDカードの準備・作成・発送などに携わっていただきました。彼らのセヴァは世界中の実践者にとって役立つものです。

本通信、第5号の特集：デリーの実践者チーム

デリーの献身的で多様性のある実践者チームが今回の通信の特集です。デリーNCRの世話人 [02859...インド](#) には、今回の特集にあたり、彼女自身のものも含め、多くの実践者のプロフィール・処方例の収集と編集、とりまとめに貢献していただきました。厚くお礼申し上げます。このチームの活動は、行動における愛の良き模範であり、読者を鼓舞するものです。

サイへの愛の奉仕の中で

アガルヴァル・K・ジット

☞ コンボを使った処方例 ☜

パーキンソン病と乾癬(かんせん) [02859...インド](#)

2013年3月、54歳の男性が大変気落ちして実践者のもとを訪れました。彼は2人の息子に支えられながら歩いてきました。6年前に中期段階のパーキンソン病と診断され、デリーにある国立病院にて Zandopa (ザンドーパ) を含む対症療法の薬による治療を受けていました。震えや身体のこわばり、痛みのために、彼は日常生活を送るのにも家族の人からの助けを必要としていました。彼はまた乾癬と床づれも患い、長い時間同じ姿勢で寝ることができずに困っていたのです。以下のレメディが処方されました：

パーキンソン病に対して：

#1. CC18.6 Parkinson's disease + CC20.2 SMJ tonic...一日3回

乾癬と床づれに対して：

#2. CC21.10 Psoriasis + CC21.11 Wounds & Abrasions...一日3回、経口の服用と併せて、ココナッツオイルを媒体とした外用湿布

2か月経過後、皮膚の症状は和らぎ、#2のレメディの服用回数は一日1回に減らされました。また、パーキンソン病の症状も50%の改善がありました。人の助けを借りることなく家の中は自由に動けるようになり、睡眠も安らかにとれるようになって大変喜んでいました。こうした症状の改善を見て、担当医師はパーキンソン病の薬を半分に減らしました。#1のレメディはそのまま継続していましたが、症状はおおよそ80%改善されました。患者さんは畑仕事も再開し農作業も完全に一人でできるようになり、医師は筋弛緩薬の処方量を減らしました。彼自身、そして家族全員がこうした結果に驚き、神と神からの贈り物に対して大いなる感謝を表しました。患者さんは#2の服用を止め、#1を更に3か月間継続し、実践者との相談の後に服用を終えました。

+++++

足の感染症 02859...インド

実践者手記: 2011年4月、私は一人でも多くの人の助けになりたいという祈りだけを抱いて、地元の町で開かれた3日間にわたるアシスタント波動薬実践者コースを終えました。その後間もなく、一人目の患者さんに出会えました。その患者さんは左足が腫れて腫れている大変貧しい女性でした。彼女はびっこを引いており、日々の暮らしを支えるために私の親戚の一人のところでメイドさんとして働いていましたが、その家事の仕事をすることにも支障をきたしていました。こうした状況下で彼女は苦しんでいました。私は彼女に以下の波動薬を処方しました:

CC21.1 Skin tonic + CC21.11 Wounds & Abrasions...一日6回

1週間経つと、膿は完全に患部から排出され、腫れも痛みも無くなりました。いまでは彼女は歩けるようになって仕事も普通にこなしています。この後、服用回数は1日3回に減らされ、次の1週間は一日1回となりました。

実践者のコメント:

患者さんは対症療法の薬にお金も時間もかけることなく完治しました。私自身が驚きと感謝の気持ちに包まれ、誠実さと真剣さを持って携わらなくてはならないこの奉仕活動の責任の重さを実感しました。この奉仕への私の姿勢はこの後、極めて謙虚にならざるを得なくなり、スラム街での定期的なセヴァにも至りました。セヴァの中でスワミの愛と恩寵が流れ続けています。

歯痛、異食症、抜け毛 02859...インド

2013年5月、食事の熱さと冷たさにとっても過敏なことに悩んでいた22歳の男性が実践者を訪ねました。その過敏さは歯痛をも引き起こしており、また、彼は幼少の頃から、チョコレートなど食べ物とは呼べないものを口にしていました。その前の月には、髪が抜け落ち、白髪となって、彼は外見も気にしていました。処方されたのは以下のレメディです:

歯痛と異食症に対して:

#1. CC11.6 Tooth infections + CC15.4 Eating disorders... 1日3回

髪の毛の症状に対して:

#2. CC11.1 Hair tonic + CC11.2 Hair problems + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日3回

3週間後、歯痛は無くなり、異物を食べたいとの欲求は80%減り、抜け毛も60%改善されました。2か月経つと、全ての症状は改善され、彼は大変喜びました。服用回数は一日1回となり、もう1か月間続けられました。

受験のストレス 02859...インド

2014年の1月中旬に、17歳の女性の両親が悲痛な思いで実践者に連絡を取ってきました。彼女はこれまでずっと優秀な生徒で、12年生の共通試験の受験に当って、勉強の大変さと社会的なプレッシャーに苛まれていました(編集者注: この試験はインドの高校生が大学入試の必須の受験資格として受けるもので、リスクもリターンも大きいと言われています)。彼女は自信を失っており、記憶を保持して実際の試験場で実力を発揮することは不可能だと思っていました。以下のレメディが処方されました:

NM5 Brain TS + BR4 Fear + BR6 Hysteria + SM1 Removal of entities + SM2 Divine protection + SM6 Stress + SM9 Lack of confidence + SM4 Uplift + SR218 Base chakra + SR222 Sacral chakra + SR227 Coral...一日6回、水で

1週間経つと、両親から、著しい改善があったとの報告がありました。彼女は元の自分に戻って、勤勉になりました。後の15日間、処方回数は1日3回となり、その後は1日1回とし、試験の終わる3月の最終週まで継続されました。実際の受験では、彼女の実力が発揮され、彼女は再度、自信を備えた生活を営むようになりました。

+++++
気分の落ち込み, 首の痛み 02859...インド

27歳の男性が過去3年間、激しい首の痛みを患い、2015年3月に治療を求めて実践者を訪ねました。対症療法の効果は限られたものであり、また、彼の日常生活の中では、これまで様々な困窮のために、鬱の状態が続き、自尊心は低く時々口ごもることもありました。彼は孤独で寂しそうでした。以下のレメディが処方されました：

首の痛みに対して：

#1. CC10.1 Emergencies + CC20.1 SMJ tonic + CC20.5 Spine... 1日3回

精神的、感情的問題に対して：

#2. CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC17.3 Brain & Memory tonic + CC18.1 Brain disabilities... 1日3回

5月の中頃までに、首の痛みは無くなり、80%の気分の回復が認められ、全体として彼は大変快活になりました（ただ、精神的な問題はまだ残ったままでした）。レメディはもう一か月間1日3回となり、さらには、1日1回となりました。ストレスの多い状態はまだ続いているので、2015年8月時点で1日1回での服用を続けています。

実践者のコメント：

最初の出会いの際にはひどく落ち込んだ厳しい状態だったために、首の痛みが無くなって患者さんのとてもうれしそうな様子を見た時は、感動的な瞬間でした。

+++++
更年期障害 02859...インド

2015年1月、49歳の女性が実践者を来訪しました。彼女はいつも幸福感がなく、人生の目的を失っていると語りました。もともと快活な人物であった彼女は、今では人と交流したいという気持ちもないと言うのです。月経の周期も不規則となっており、以下のレメディが処方されました：

CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC8.6 Menopause... 1日3回

1週間後、彼女からレメディによってとても楽になりうれしい驚きで一杯との報告がありました。3月に入ると、彼女は完全に回復したように感じ、平安で、満足していました。服用回数は1か月間、1日1回に減り、その後はさらに、1週間に1回となりました。2015年8月現在、予防としての服用回数（1週間に1回）を継続しています。生理は完全に止まりました。彼女は波動薬に全幅の信頼を寄せており、実践者のもとに多くの患者さんを送り込んでいます。

+++++
湿疹 11569...インド

60歳女性が、目の下に湿疹を5、6年間患っていました。患部は腫れぼったく、対症療法の薬によっては効き目は限られており、症状は変わらないままでした。2015年5月5日に以下のレメディが処方されました：

#1. CC12.1 Adult tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC21.6 Eczema... 水で一日3回

#2. CC21.6 Eczema... 水で1日2回、外用湿布として

最初の10日間は、何の変化もありませんでした。症状に変化が現われたのは、一日の内、1時間を通して、10分毎に1回へと服用回数を増やしてからでした。三日後、腫れは目に見えて引いていき（写真参照：左は服用前、右は服用後）湿疹は80%の改善がありました。#1のレメディはその後、一日6回（2週間）とし、その後1日3回（1か月）としました。この時までには、湿疹は完全に消えていました。

#1 のレメディはその後の2週間一日1回としました。



+++++
慢性呼吸疾患 11569...インド

47歳女性が長期にわたる呼吸疾患の治癒を求めていました。2回目の肺炎に罹っており、又40年間、気管支炎、連鎖球菌咽頭炎、胸部絞扼感を含む再発性呼吸器疾患を患っていました。対症療法の薬を服用していましたが、胸部絞扼感は治癒されることはありませんでした。彼女はまた、13年間狼瘡(ろうそう：皮膚疾患の一種)と過敏性腸症候群を患っていました。肺炎と他の呼吸系疾患が彼女にとって最も悩ましい症状であったため、波動薬の処方はずまずそれらに焦点を当てられました：

CC12.1 Adult tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC19.3 Chest infections chronic + CC19.7 Throat chronic...水で一日3回

三日経っても、変化はありませんでした。そこで、処方回数は一日あたり、1時間、10分おきに1回の服用としました。7日後の終わりに胸部絞扼感は著しく改善しました。その後、服用回数は3日間、一日6回とし、その後の1か月は1日3回としました。この間、肺炎と胸部絞扼感は完治されていました。その後、1週間、一日1回の処方を続けていましたが、本人が引っ越してしまったため、他の症状に関してはそのままとなっています。

+++++
頭皮乾癬 calp psoriasis 11569...インド

50歳女性が10年間、後頭部に乾癬を患っていました。以下のレメディが処方されました：

#1. CC12.1 Adult tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC21.10 Psoriasis...水で一日3回

#2. CC21.10 Psoriasis ...水で外用湿布として

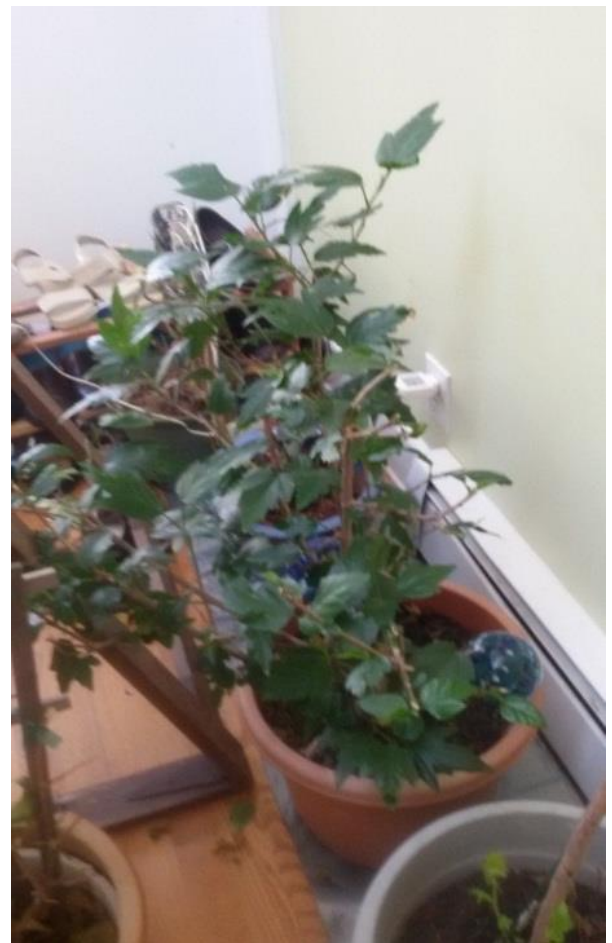
3日後に、改善が見られたもののそれは穏やかなものでした。そこで#1のレメディは、1週間、一日の内、1時間は10分おきに1回の頻度で服用するようにしたところ、乾癬は90%改善しました。#1、#2双方のレメディは、1か月間1日3回の服用で継続され、その後、乾癬は完全に治癒されました。#2のレメディの服用はそこで不要となり、2015年8月時点で、#1のレメディが一日1回の服用で継続されています。

+++++
しおれた植物 11569...インド

定期的に水やりを行っているにもかかわらず、家の中の観葉植物が約1か月あまりしおれている状態が続いており(下記左写真参照)、以下のレメディが処方されました:

CC1.2 Plant tonic...水で

1回の処方で、24時間以内で回復しました。「使用後」の写真(下記右)は、翌日撮影したものです。



+++++
足の膿瘍とかゆみ 11570...インド

2015年4月27日に貧しい家庭の11歳の少年が実践者のところに連れられてこられました。足部の膿瘍とかゆみを約6、7か月患っていました。対症療法の医師は注射の処置で完治すると約束しましたが、当初、20%~30%の改善が見られたものの、感染はまたもとのレベルに戻ってしまいました。処方されたレメディは以下の通りです:

#1. CC12.2 Child tonic + CC21.2 Skin infections + CC21.11 Wounds & Abrasions...一日3回

#2. CC21.2 Skin infections + CC21.11 Wounds & Abrasions ... ココナッツオイルで一日2回、外用湿布用として

15日経つと、50%の改善が見られ、1か月後には約90%の改善となりました。
この後、少年は夏休みで村へと戻り、治療は中断しました。6月28日、少年は再び実践者のもとへと連れられてきましたが、右ふくらはぎの感染は無くなっており、皮膚は完治していました。しかし、新たな症状が右太ももと左足に見られました。（下記写真参照）

上記#2のレメディと下記が処方されました：

#3. CC12.2 Child tonic + CC17.2 Cleansing + CC21.2 Skin infections + CC21.11 Wounds & Abrasions... 一日3回

服用してから最初の5~6日で、好転反応が現れ、症状は悪化しましたが、耐えられる範囲だったので、治療は継続されました。その後、感染はゆっくりと治まっていきました。少年の父は少年の衛生管理について、少年用にタオルを別に用意し、彼の衣服を別にして洗い消毒するようにとの助言を受けました。

2015年8月2日、治療が始まって3か月経って、患者さんから完治の報告がありました。皮膚の色あせも薄らいできていました。

患者さんは更に1か月間#1と#2のレメディの服用を継続するよう告げられました。





実践者コメント:

実践者は神の癒しの過程に貢献できたことを深く感謝しています。

+++++

消化不良、クラミジア、更年期障害、口内水泡 ^{11572...インド}

49歳女性が2015年4月29日に実践者のもとへやってきました。彼女は、消化不良、鼓腸（胃腸内のガスの蓄積）、食物アレルギー、クラミジア、膣内部の異常な乾燥、ほてり、気分の浮き沈みを含む更年期障害などの多くの病を過去3年間患ってきたのです。また、食事の際、食べ物を口に入れるとすぐに、口内に水泡ができました。この水泡は食物アレルギーによるもののみならず、塩以外による味付けの食べ物からも原因として生じました。水泡は、たとえ食事をしていないときでさえも現れるのです。また、消化不良は鼓腸の原因となり、ひいてはひどい頭痛や吐き気を催させました。様々な検査を受け、多くの対症療法の薬を試しましたが、症状に変化はありませんでした。以下のレメディが処方されました：

便秘、クラミジア、更年期障害に対して：

#1. CC4.4 Constipation + CC8.5 Vagina & Cervix + CC8.6 Menopause...一日3回

鼓腸、口内水泡に対して：

#2. CC4.5 Ulcers + CC4.10 Indigestion + CC11.5 Mouth infections + CC21.2 Skin infections + CC8.1 Female tonic...一日3回

口内水泡に対する、水を用いた外用薬として：

#3. CC11.5 Mouth infections + CC21.2 Skin infections...必要に応じて

10日間の服用の後、症状には著しい改善が見られました。口内にできる水泡の数は劇的に減り、3日に1回くらいに現れる程度となりました。他の症状については約20%の緩和がありましたが、追加的に、以下のレメディが処方されました。

食物アレルギーに対して：

#4. CC4.10 Indigestion...必要に応じて

2週間後には、消化不良の症状は完全に無くなり、他の症状については段階的に徐々に改善していきました。その後、口内の水泡については更に少なくなり、更年期障害と便秘については完治しました。波動薬の服用を開始して約8週間でこうした回復がなされました。2015年8月現在、口内の水泡以外の症状については完治しています。水泡は、刺激の非常に強い食べ物を食する時、2か月に1回程度の割合で再発します。服用回数については、これまでの症状の再発を懸念して、同じ回数を維持しています。それは、彼女自身、波動薬に大きな信頼を寄せており副作用がないことを十分知っているためでもあります。



全身の痛み, 心霊作用の影響, 低血圧 11573...インド

2015年4月23日、引退した元電気技士の64歳の男性が、奥さんと下のお子さんに歩行を支えられて実践者のもとへやってきました。本人は聴力が弱く、病歴などの面談も2人の助けを借りて行われました。長い期間、彼は全身に痛みと炎症を患い、排尿が不規則で、食欲がなく、物事への関心が著しく低下していました。彼はこうした症状にかれこれ20年間ちかく悩まされてきました。患者さんの健康は、トラウマとなっている怪我から深い影響を受けていました。20年前に電気ショックを受け、彼は電信柱から落下し右足を複雑骨折したのです（足には現在ロッドが挿入されています）。彼は15年前に虫垂炎の手術を受け、13年前には、脳内出血により身体の麻痺を患い、また、35年間聴力の低下に悩んでいました。2年前にようやく両耳に補聴器を装填した程度でした。患者さんはまた、断続的に心霊的な作用を受けやすく（悪夢、落ち込み、黒魔術についての被害妄想など）なっていました。彼はそれまでの人生を通して、良き労働者であったのですが、労働環境での不公平な待遇よってかなりのストレスを抱えていたのです。1時間の面談の間、患者さんはイライラしており、自身について話が行われているにも関わらず独り言を言い続けていました。身体の痛みのために、一度に数分間以上、座ることも立っていることもできませんでした。痛み止めの薬を含む処方された対症療法の薬が効く気配がないため、彼は、最後の手段として実践者のもとへやってきました。以下の処方になされました：

#1. CC3.6 Pulse irregular + CC3.7 Circulation + CC10.1 Emergencies + CC12.1 Adult tonic + CC15.2 Psychiatric disorders + CC17.3 Brain & Memory tonic + CC18.5 Neuralgia + CC20.2 SMJ pain + CC20.4 Muscles & Supportive tissue... 10分おきに水で2時間、その後改善するまで1日6回

10日後の2015年5月3日、息子さんからの報告があり、最初の3日間、父親は「ほら、見たことか、やっぱり、これも効かないんだよ」と嘆いていましたが、その後1週間経つと症状に大きな変化が現われたとのことでした。現在、痛みと炎症はほとんどなくなり、彼は徐々に本来の自分に戻りつつあって、睡眠も改善されてきていました。自分の好きな食べ物を要求するようになり、周りの環境についてもより意識するようになりました。彼は喜びと幸せを感じています

15日後、低血圧の症状が出たので、以下の処方へと切り替えられました。（最初の面談の際、家族からは事前に、低血圧の傾向については知らされていませんでした）

#2. CC3.2 Bleeding disorders + #1... 一日4回

1か月後、全ての症状において劇的な改善がありました。次の15日間、服用回数は1日3回に減らされ、更なる症状の改善の後、2015年7月には一日2回となりました。2015年8月現在、彼は完全に回復し、#2を1日1回で続けています。波動薬での治療中、症状が改善されていったため、医師は対症療法の薬の量を減らしていき、現在では薬は出されていません。



ウイルスによる熱 11573...インド

実践者手記: 9歳の下の子が、2日間、咳、頭痛、喉荒れ、風邪を患っていました。学校での月例テストが実施されていたので、こうした症状にも関わらず登校していました。2日目の夕方、以下のレメディを処方しました：

#1. CC9.2 Infections acute + CC11.3 Headaches + CC12.2 Child tonic + CC19.2 Respiratory allergies... 一日3回

睡眠前にも2回の服用を実施しました。しかし、熱は上がり咳はひどくなっていったので、以下のような処方に修正しました：

#2. CC9.2 Infections acute + CC11.3 Headaches + CC12.2 Child tonic + CC19.2 Respiratory allergies + CC19.3 Chest Infections chronic + CC19.6 Cough chronic ... 水で、10分おきに、真夜中から午前2時にかけて

朝の6時には全ての症状がなくなり、普通の状態です学校に行くことができました。処方はこの後1週間継続されました。

+++++
糖尿病 11573...インド

2015年4月10日に、活発で朗らかな47歳の女性が実践者を訪れました。彼女は複数の病を患っていました。18か月前に、ホメオパシー薬の過剰摂取により脳内出血を患いましたが、幸運にもそれから回復しました。1年後、子宮頸管の良性腫瘍と診断されました。彼女は更に、手足の痛み、炎症、むくみを患い、そのための対症療法薬を服用していました。15年前には、糖尿病と診断されており、現在インシュリンの投与を受けながらも血糖値は安定していません。以下の処方が行われました：

糖尿病に対して：

#1. CC6.3 Diabetes + CC12.1 Adult tonic...一日3回

12日後の2015年4月22日、患者さんからうれしい報告があり、15年間で初めて、血糖値が安定し、インシュリンの摂取量が減らされたとのことでした。そこで、第2弾としての処方が以下の通り行われました：

炎症、痛み、むくみ：

#2. CC3.7 Circulation + CC20.3 Arthritis + CC20.4 Muscles & Supportive tissue...一日3回

2015年8月現在、患者さんは上記の症状に全く煩わせられなくなりました。そこで、#2の服用は不要となり、#1のレメディを継続して、血糖値の更なる改善を図っています。

+++++
偏頭痛,高血圧、内出血 11573...インド

2015年5月、73歳男性が幼少時から患っている偏頭痛の治療のため実践者を訪れました。家族の他のメンバーも同じ症状を患っているため、遺伝による可能性が推察されましたが、患者さん自身、自らの病歴の詳細について話すことを拒んでいました。彼は以前は大変活動的でしたが、家族内の大変な問題に直面していました。下記の処方になされました：

#1. CC11.4 Migraines + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日3回

服用の1か月後、症状に変化はなく、他方、高血圧も併発しました。実践者からのたびたびの催促にも関わらず、患者さんは可能性のある原因に関しなかなか心を開いてくれませんでした。その後、ある日、患者さんは実践者を訪れ、気弱な声で、過去2年間、出血性痔核を患っていたことを打ち明けました。彼はあらゆることを試しましたが何の効果もなかったのです。#1のレメディは既に服用して無くなっていたので、以下のレメディの処方になされました：

#2. CC3.2 Bleeding disorders + CC3.3 High Blood Pressure (BP) + CC4.4 Constipation + CC10.1 Emergencies + CC11.4 Migraines + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日3回

翌朝には、出血は止まり、偏頭痛と高血圧は著しく改善され、元の日常生活を再開することができるようになりました。二日も経つと、痔も完治しました。精神的な面持ちも向上し始めました。

15日後、偏頭痛と高血圧双方ともに鎮静し、新たなレメディの処方が、#2の処方から **CC10.1 Emergencies** が除かれた形で行われました：

#3. CC3.2 Bleeding disorders + CC3.3 High Blood Pressure (BP) + CC4.4 Constipation + CC11.4 Migraines + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日2回

2015年8月時点で、#3の中の **CC3.2 Bleeding disorders** が除かれ、再発防止のためのレメディとして以下の処方が行われました：

#4. CC3.3 High Blood Pressure (BP) + CC4.4 Constipation + CC11.4 Migraines + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日2回

今後、服用回数を徐々に減らしていきながら、処方内容はそのまま継続していく予定です。

実践者コメント：

患者さんが全ての病症を実践者に話すことで初めて完治が可能となることを念頭に置くことが重要です。

+++++
喉の痛み、咳、しわがれ声 11574...インド

75歳男性が過去2週間、のどの痛みや咳、しわがれ声に悩んでおり、以下の処方がなされました：

CC19.6 Cough chronic + CC19.7 Throat chronic...一日3回

2回の服用の後、大量の痰を吐き出すことができ、喉がすっきりした感じとなりました。その後2週間、服用は継続され、症状は完治し、声も完全にもとの通りに回復しました。

+++++
慢性の喉の痛み、足首の痛み、ほてり 11964...インド

54歳女性が喉の痛みと足首の痛み、ほてりを訴えて実践者を訪れました。こうした症状の他、彼女は過去20年間、しわがれ声や喉のかゆみも患っていました。症状が悪化するのは食後で、喉になにか詰まった感覚があるのです。また、彼女は、酸味のある食物に対しても極端なアレルギーを持っていました。喉の調子が悪化すると（それは2、3か月に1回くらいの頻度でしたが）、対症療法薬を服用し、一時的な緩和を得ていました。

足底筋膜炎のために、過去4年間、足首の痛みにも悩まされましたが、痛み止めの薬は一時的な効果しか発揮しませんでした。2年前にほてりも発症し、一日に少なくとも2、3回の頻度で現われました。

彼女の悲しげな振る舞いは、自らの運命に対しての諦めが見て取れ、彼女のぎりぎりの意志によって日常生活の雑事がこなされているようでした。波動薬による治療を始めた時点で、彼女は他のどの薬ももはや摂取していませんでした。2014年12月10日、以下の処方が行われました：

足底筋膜炎、咳、ほてり：

#1. NM3 Bone I + NM6 Calming + NM8 Chest + NM10 Climacteric + NM32 Vein Piles + NM36 War...一日3回

痛み、喉の慢性症状：

#2. NM59 Pain + NM71 CCA...一日6回

7日目に、患者さんから、足首の痛みとほてりが75%改善され、のどの症状が50%緩和されたとの報告がありました。#2レメディの服用回数は一日3回へと減らされました。1か月经つと、患者さんの悲観的な態度は全くなくなり、全般的な健康は80%以上の回復が感じられるとの報告がありました。

痛みもなく、喉の異物感もなくなりました。実践者は、#1と#2のコンビに代えて、新たなレメディを準備しました。新たな処方では、**NM8 Chest**と**NM71 CCA**が除かれ、**NM2 Blood**と**SM40 Throat**が加わり、身体全体の状態を向上させ、慢性の症状に対応するものとなりました：

#3. NM2 Blood + NM3 Bone I + NM6 Calming + NM10 Climacteric + NM32 Vein Piles + NM36 War + NM59 Pain + SM40 Throat...一日3回

2か月後には、痛みは完全になくなり、喉の感覚も正常となり、ほてりの症状もずっと改善され、発症は数えるほどとなりました。

痛みもなく、また感染症状の治癒も明らかになったため、**NM2 Blood**、**NM36 War**、及び**NM59 Pain**が除かれ、慢性の症状に焦点を当てた以下の新たなレメディが処方されました：

#4. NM3 Bone I + NM6 Calming + NM10 Climacteric + NM32 Vein Piles + SM40 Throat...一日3回

3か月以内に、患者さんは完治し、酸味のある果物さえ楽しめるようになりました。

2015年7月現在、症状は認められず、服用回数は一日1回となりました。彼女の病気の改善と治癒を目の当たりにして、家族全体がサイ波動薬へと切り替えました。

患者さんのコメント:

私は、インドのデリー出身です。約20年間も喉の過敏性に悩まされてきました。しばしば、咳の発作があり、特に食事の後は、喉に違和感を覚えます。咳が出始めるのを恐れて、時々私は、友人との会話ですら避けようとしてきました。やがて、私の声はしわがれてきて、酸味のあるものは食せなくなり、冷たい飲み物も楽しめなくなりました。抗アレルギー剤や抗生物質は一時しのぎの効果しかもたらしませんでした。それに追い打ちをかけるように、約3年前、左の踵と足首にひどい痛みが発症しました。この症状は足底筋膜炎と診断されましたが、どれほどの量の対症療法の薬によっても痛みが和らぐことはありませんでした。過去2年間にわたるほてりは私を絶望の奈落へと突き落す最後のとどめとなりました。その後は運命に諦め、ただ機械的に日々の生活を送っていました。2014年12月10日、結婚記念日の翌日、私は夫から、サイ波動薬レメディという形での、人生で最も価値のある贈り物を受け取りました。

それ以降、私の人生は素晴らしい出来事の連続となっています。最後に心身ともに満たされた気持ちだったのはいつのことだったかを思い出すことはできません。波動薬に出会って6か月となりますが、特に酸味のある果物を食し、冷たい飲み物を飲むことができる時、大いなる自由を実感しています。足首には痛みはなく、気にいったどのような靴も履くことができます。私はまた、レメディの処方準備などのお手伝い等を通して波動薬の世界を人々に紹介する活動にも参加しています。私の家族全体が、これまでの伝統的な医学からサイ波動薬へと切り替わりました。いつか、私自身が実践者として奉仕が可能となることを楽しみにしています。

+++++
びまん性脳硬化症 と鬱 11964...インド

様々な病を患っていた82歳の男性が2015年1月14日に自らの殻の中に閉じこもってしまいました。全ての活動を中止し、食べることも、いかなる薬の服用も拒絶しました。彼には記憶がなく、誰も認識することができませんでした。彼は入院せざるを得なくなり、びまん性脳硬化症、急性錯乱状態、感覚神経中枢の異常、痴呆症と診断されました。入院中であっても、彼の症状は悪化し続け、時には看護婦などに対しての暴力に至る時もありました。彼は薬の摂取をも拒絶していたため、15日後に医師は手の施しようがなく、彼を退院させました。2015年2月5日に、彼の息子さんが実践者に連絡をとり、彼が目を閉じた状態が続いているので、実践者に来訪してもらいたい旨の依頼をしました。実践者は患者さんの部屋で2人だけで話をしました。忍耐強い説得と激励の話の後、患者さんは目を開け、全身に激痛を感じていると話しました。スワミの恩寵により、彼はビブーティを受け取り、波動薬を以下の通り服用することに同意しました:

精神の混乱、痴呆症、生きる意志の欠如:

#1. NM2 Blood + NM5 Brain TS + NM6 Calming + NM7 CB7 + SR268 Anacardium + SR425 Clematis + SR344 Avena Sat + SR428 Gorse...一日3回

衰弱:

#2. SM41Uplift...一日6回

患者さんの環境浄化:

#3. CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC17.3 Brain & Memory tonic...水で一日3回、部屋の中、ベッドの周りに振りかける

患者さんの息子さんがレメディを取りにきましたが、家族の内部で波動薬に対する懸念のようなものがあり、父親には渡されませんでした。3日後、ようやく家族を説得して2月8日にレメディの服用が開始されました。服用して3日経つと、患者さんは寝たきり状態を脱し、10日後には、固形物の食物の摂取が可能となり、2週間後には、一人でトイレに行き始めるようになりました。彼は誰と会っているのか認識できるようになり、みずから食事をとるようになりました。この変容こそ神の全き力が流れているものであると実践者は感じ、実践者はレメディの奇跡的な効果を目撃していたのでした。もちろん、患者さんの家族もまたこの変化を奇跡であると考えていました。

3週間の服用の後、症状は80%改善され、40日後には、意識の明瞭さと自信という点で完全に回復を遂げていました。彼は明るく、気さくになりました。

その後、患者さんは右手の震えについて気になり、**NM43 Tremors** が#1に加えられました。

#4. NM43 Tremors + #1.

#2は継続せず。

2週間後、震えは100%治まりました。

かつて、自らの殻に閉じ籠っていたこの年配の患者さんは、波動薬の処方を受けて2か月も経たないうちに完全な回復を示しました。2015年8月現在、意識は完全に明瞭で、記憶の喪失もなく、幸せな状態です。予防のためのレメディとして#4を週に1回服用しています。

患者さんの息子さんのコメント：

当時、父は熱を出しており、人も認識できず、記憶も定かではなく、過去の古い物事も思い出すことはありませんでした。医師により、父はびまん性脳硬化症、急性錯乱状態、感覚神経中枢の異常と診断され、入院を余儀なくされました。病院での15日間、症状の改善は見られず、むしろ更に手に負えなくなり、食べることもいかなる薬の服用でさえも拒絶しました。それは生きることを諦めているようでもありました。医師には何もできることがなくなり、父の退院が勧告されました。家でも、食べること、目を開けること、ベッドから起きることを拒絶していた父の症状は悪化の一途をたどっていました。家庭全体が混乱し、また憂鬱な状態にありました。

その後ある日のこと、父の旧友が訪ねてきて、父の状況を見て取ると、私たちに一人の波動薬実践者に会うように助言しました。私達家族はそれ以前には波動薬という名も聞いたことはありませんでした。しかし、その時には、藁にでもすがる思いでいました。私は実践者に電話をし、状況を説明しました。彼は親切にもこちらまで出向いてくれました。それは2月の5日ごろのことでした。正直なところ、家族は躊躇していました。しかし、私の説得によって、レメディを受け取ってから三日後に父の服用が始まりました。それ以降は、奇跡以外の何物でもないしか表現できません。治療の3日目、父はベッドを離れ、果物を食べはじめました。その後、人を認識するようになり、理学療法士によって指導を受けていた体操にも関心を示しました。10日もすると、回復は加速し、元気よく動き回るようになり、訪ねてきてくれた親戚や友人がいると積極的に会話を交わすようになりました。父の困窮は去っていきました。これを奇跡と呼ばずに何と表現したらよいのでしょうか。現在も神経的な症状は全く見られず、対症療法の薬と併用して、他の軽い症状のために波動薬の服用は継続しています。父の波動薬に対する姿勢は完全な確信が基盤となっており、実際のところ、私自身も波動薬のお世話になっているところです！

+++++ パニックの発作とひきつけ 11964...インド

28歳女性が2014年12月30日に実践者を訪ねました。彼女は過去5年間、不安、怖れ、激しい頭痛、悪夢、パニックの発作に悩まされていました。彼女は多大なストレスを抱えているようで、あまり多くを語ろうとはしませんでした。

緊張を解きほぐすために、以下のレメディが処方されました：

ストレス緩和：

#1. NM2 Blood + NM6 Calming + NM25 Shock + BR2 Blood Sugar...一日3回

2週間後、彼女は実践者を再訪し、頻繁なひきつけの話を打ち明けました。座っている時、あるいは料理中でさえも、気を失うときがありました。ひきつけの際には、自制心を失い、服を引き裂いたり、ものを辺りに投げつけたりしました。そうした後にはいつも、前頭部あたりに頭痛が、3、4時間、続きました。当初、ひきつけはほぼ毎週のように起きていましたが、5年間服用している対症療法の薬によって、1か月に1回か2回の割合まで改善されていました。訪問時、対症療法の薬は一切服用されておらず、ひきつけは毎月起きていました。前日に、6時間にわたって2回の発作がありました。以下のレメディが処方されました：

ひきつけに対して：

#2. NM6 Calming + NM50 Epilepsy + NM78 Epilepsy-B + BR2 Blood Sugar + SR235 Bladder + SR240 Kidney + SR260 Mag Phos...一日3回

発作の際の緊急用として：

#3. NM91 Paramedic Rescue + NM95 Rescue Plus... 発作がおきたら15分おきに、患者さんが楽になるまで

2015年1月17日に最初のレメディが患者さんの舌下に置かれました。3日後、頭痛の症状は全くなり、全体として50%の改善がありました。しかしながら、彼女は激しい虚弱を訴えたので、#2にいくつかのレメディが加えられました：

#4. NM2 Blood + NM75 Debility + NM90 Nutrition + #2

2週間の後、実践者は彼女がすっかり変化したことに気づきました。頭痛や発作がなくなり、患者さんは明るく活発になりました。その後2週間、症状の再発がなかったため、2週間をかけて徐々に、服用回数を減らしていきました。6か月後、症状は全くなり、再発防止のために#4のレメディを1日1回の服用で継続しています。患者さんとその家族はみな幸せで、自宅では定期的に波動薬のクリニックが開かれています。

患者さんのコメント：

私はデリーのマンガルプリに住んでいます。私の症状は5年前に、第2子の出産の後、故郷の村に戻ってから現われました。明確な理由もなく、私は気を失うようになりました。意識が戻ると、家族の人も認識できず、記憶喪失のような振る舞いをしました。私はデリーに連れて行かれ、何年かかけていくつかの病院で治療を受けました。6か月間の治療の後、私は家族の人がわかるようになりました。

しかしながら失神は続きました。発作の回数は1週間に2回ほどであったのですが、2年間の対症療法の薬の摂取によって1か月に、2、3回にまで減少しました。でも、このことでは私の不安は払しょくされず、状況は変わりませんでした。私は一人であることができず、家族全体が巻き込まれました。2014年12月、幼少時にバルヴィカスの生徒であり、熱心な帰依者である夫が、マンガルプリにある私達の自宅で波動薬のクリニックを始めてみたらどうかとの提案を友人の実践者から受けました。これは、サイの奉仕プロジェクトであったために、夫は喜んで、週1回のクリニックの開設に同意しました。夫によって実践者に私の症状が伝えられたのは、この時のことです。

当初、私達は病気の詳細について明らかにすることに躊躇していました。しかし、波動薬のレメディを2週間服用して、(好転反応のため)一日に2度も発作があり、極めて厳しい症状となりました。夫と私はすぐに、実践者の自宅に連絡を取って、過去5年間の病歴の全てを伝えました。実際、そのような状況に置かれて気づいたことは、精神的にも、身体的にも打ちのめされた時でも、スワミに対する私の信愛と希望は決してあきらめることはなかったということでした。夫や、子供たち、他の家族のメンバーには私のために、たくさんの不便をかけてしまい申し訳なく思っていました。私は、新たなレメディを処方され、そのレメディは症状を瞬く間に変化させ始めました。奇跡は1週間も経たないうちに始まったのです。私は落ち着きを取り戻し、心の浮き沈みが無くなり、発作も見られなくなりました。悪夢を見ることなく、睡眠も深くなり始めました。1か月後には、苦しかった思い出だけが残りました。現在では、服用が始まって6か月経ち、これ以上ないほどの快適な健康状態です。バガワン・ババが私達家族に恩寵を与えて下さったこと、サイ波動薬を通してババの使命の一端に参加させていただける機会を得たことを私は深く感謝いたします。サイ波動薬の奇跡の展開は、1週間に3回開かれているマンガルプリでのクリニックでも目撃されています。

実践者プロフィール

今回の通信の特集では、デリーの多様性のある実践者チームのプロフィールを紹介いたします。新しい6名の実践者の経歴やこれまでの体験をここに掲載いたします。今回のプロフィールの編集、とりまとめはデリーNCRの世話人 02859...インドに貢献していただきました。まずは、彼女のプロフィールからご紹介いたします：



実践者 02859...インド 本人による手記: 私は28年以上にわたってデリー大学で電子工学の教鞭をとってきました。波動薬の奉仕活動を開始したのは2011年7月です。それ以来、急性と慢性の様々な症状に対応する機会を戴きました。デリーNCR地区での波動薬ワークショップや様々な活動をコーディネートするのも私自身のセヴァの一部となっています。波動薬に出会う前には、奉仕の渴望が常にあ

りながらも、自分に合った奉仕の場を見出すことができずにいました。波動薬のトレーニングコースを受講した唯一の理由とは、そのような奉仕の場を求めることでした。私の最初の患者さんの一人は、親戚の家で働いていたメイドさんでした。その患者さんは左足が腫れ腫れていて、びっこを引いており、痛々しいものでした。パパに心からのお祈りを捧げながら、私は波動薬実践者となってからの最初のレメディを処方しました。

1週間経つと、膿は完全に患部から排出され、腫れも痛みも無くなりました。それは、まさしく信じられないものでした。**（編集者注：この処方例は、下記に列挙されている中の一つです）**今では彼女は歩けるようになって仕事も普通にこなせます。その後、服用回数は1日3回に減らされ、次の1週間は一日1回となりました。

この方の人生に安らぎをもたらすような道具として、なぜ、私を選んでいただいたのか、と思いがあります。時間が経過して、「なぜ、私に？」という思いを抱きながらも、他の多くの機会を得る祝福を戴きました。医療キャンプでは、恵まれない方々への奉仕活動は図りしれない喜びを与えられました。奉仕をしたいという深い望みは、私には最もあり得ない方法でパパから授けられました。道を歩む途上では、奇跡とともに生きることを学ばなければならないのでしょうか。

私はまた、波動薬の世界が強力で、説明不可能な多くの結びつきが常に確立されていることにも気づきました。最近起こった事例を一つご紹介しますと、私の職場の同僚が妊娠8か月となり、唯一の悩みはしつこい痒みであることを話していました。その後、自分のe-mailをチェックしていたところ、波動薬通信が送られてきており、その中で、ある実践者がまさに同じような状況で、大変効果的な処方のできた旨の実際例が掲載されていたのです。そうしたことが頻繁におきているので、パパの見えざる臨在に気が付かされています。

違ったレベルでは、波動薬はおそらく、科学と霊性の関係が密接でありかつ極めて神秘的なものであるという最良の証拠を示すものでしょう。それは研究課題としてとても魅力的な題材です。そしてもちろん、波動薬の奉仕活動は「全てを愛し、全てに仕える」を実践する最良の方法の一つです。

紹介されている処方例

- [パーキンソン病と疥癬](#)
- [足の感染症](#)
- [歯痛、異食症、脱毛](#)
- [試験のストレス](#)
- [鬱、首の痛み](#)
- [更年期における鬱](#)

実践者 11569...インド

実践者は電気工学の博士号を有し、デリー大学で教鞭をとっています。

（実践者手記）：「何かしらの高位の目的のために私達は生まれてきたのだと私は信じています。そしてその目的とは、奉仕であり、その活動に携われることを私は大変喜んでしています。私はまた、様々な局面で人にいつでも奉仕できる機会を戴いたことを大変幸運に思います。



過去5年間（チャクラなどの）エネルギー波動の学びをしている中で、2014年に、同僚の実践者02859...インドによって波動薬を紹介されました。その時、私は、まさに、自らを癒す切羽詰まった状態にあり、波動薬によって救われたのです。」

彼女は、患者さんにとって波動薬が効果的で優れたものであると思っており、波動薬チームの一員であることに大いなる感謝を表しています。

紹介されている処方例

- [湿疹](#)
- [慢性呼吸系疾患](#)
- [頭皮の乾癬](#)
- [しおれた植物](#)

実践者 11570...インド

実践者は、広報・宣伝における修士号を有し、政府機関での勤務を引退した後、現在、デジタル印刷のビジネスを営んでいます。2015年4月にアシスタント波動薬トレーニングを修了して以来、精力的に波動薬の奉仕活動を実践しています。



(実践者手記) 「私はたくさんの患者さんをお世話する機会を戴きました。高熱・下痢・口内炎・ものもらい・乗りもの酔いその他の急性の症状については、スワミの恩寵によって、2, 3日の服用の後、あるいは、時に、たったの一日で、著しい改善が示されました。

慢性の症状、例えば、糖尿病・甲状腺亢進・慢性の咳・癲癇・鬱・不眠症・爪の症状・あかぎれ・あざ・皮膚のアレルギー・激しい痒み・痔・生理不順などについても、波動薬によって大きな成果が得られています。これもまたスワミの恩寵によるものです」

紹介されている処方例

- [足の膿瘍とかゆみ](#)

実践者 11571...インド



実践者はソフトウェアエンジニアで、2015年春に波動薬の活動を開始して以来、風邪・慢性の咳・生理不順・妊娠中の身体の痒み・脊椎炎・眼筋衰弱・毛髪の諸症状・消化不良といった問題を抱える患者さんに対処してきました。

彼女が波動薬に出会ったのは、妊娠中のことで、自ら服用してその効果に大きな感銘を受け、出産を控えていながらも、トレーニングセミナーへと足を運んだのでした。出産も女兒の誕生として祝福されました。以下、手記をご紹介します：

「妊娠の第3期の終わりに近づく頃のある日、突然、吐き気とともに下腹部に堪えられないほどの痛みを感じ始めました。翌朝、医師を訪れた時にも、まだ痛みは続いていました。医師は注射を2本、1つは痛み止め、もう一つは胃酸過多に対するものでした。医師は、さらに、もし痛みが続くようであれば、超音波での検診を受けることを勧めました。続く2日間は、痛みはありませんでしたが、その後また、痛みが再発しました。それは耐えがたい痛みでした。その時、私はどうなってしまうのだろうと本当に心配しました。前週あたりから、腸の動きが不安定で、便秘であり、腸の動きを活性化するのに大変な思いをしていました。母は、波動薬実践者 11476...インドから便秘の波動薬レメディを取り寄せてくれました。

(毎日、3リットルの白湯摂取と併せて)約1週間の服用の後、症状は完治しました。私はその後の妊娠期間に於いても服用を継続し、2度と便秘や腸の不規則な動きに悩まされることはありませんでした。スワミはこうして私に波動薬と出会わせてくださったのです。私は、自分自身や家族を含め困っている人の手助けをするためにトレーニングコースの受講を決意しました。とてつもない体験であったアシスタント波動薬実践者トレーニングを修了した後、私は以下のレメディを服用し始めました：

#1. CC4.10 Indigestion + CC8.2 Pregnancy tonic + CC12.1 Adult Tonic + CC15.1 Mental & Emotional tonic...一日3回

最初の数日間、心身共にとても軽く感じられました。同時にとても眠くなり、文字通り一日中寝ていました。起きるのは食事の時だけでした。元の状態に戻ったのは2、3日したからでした。妊娠8か月目に入ると、夜、全身に痒みを覚え寝ることもできませんでした。そこで以下のレメディを服用しました：

#2. CC21.1 Skin tonic + CC22.2 Skin infections + CC22.3 Skin allergies + CC21.6 Eczema...一日3回、経口及び、ココナッツオイルを媒体に外用湿布として

1週間後、痒みはなくなり、夜もぐっすり寝られるようになりました。妊娠の38週目、担当の医師は出産時に骨盤の許容限界の怖れがあるとして、私に帝王切開を勧めました。これを受けて私は次のレメディを服用し始めました：

#3. CC10.1 Emergencies...一日3回

私は#1、#2、#3のレメディを出産まで摂り続け、2015年7月2日、美しく健康な女兒が無事生まれました。その後の1か月、服用を続けたおかげで、出産後の回復が速やかになり、赤ちゃんのケアもしやすくなりました。帝王切開の翌週、私は下腹部に、まるで通常のお産をしたかのような痛みを感じました。これこそが、サイ波動薬の力です。今では、スワミの祝福が常に共にあるという感覚から平安の中にあります。付記すべきこととして、妊娠中の体重の増加が、胎児の3kgを含めて全体として6kgであったのにも関わらず、妊娠中の胎児の成長は順調でした。このことは私にとってとても重要なことで、体重増加がそれほどなくても、母子ともに健康であったということです。出産後、約1週間してからの最初の検診では、妊娠前の体重であった54kgに戻っていました。

実践者 11572...インド



退役陸軍准将の妻で、彼女自身、コミュニケーション会社での販売・マーケティング担当副社長という役職を最近退き、グルガオンでの波動薬の奉仕活動やその他のサイの活動に時間を捧げています。彼女の人生は波動薬によって変わったと自身は述懐しています。波動薬を処方した後の患者さんの笑顔を見ることが彼女にはとてつもない喜びとなっています。この奉仕活動の道具とさせてくれたババに心からの感謝を表しています。

紹介されている処方例

- [消化不良、クラミジア、更年期障害、口内水泡](#)



実践者は仕事を行いながら、ヨガの実践や自然療法家としての活動を行っています。彼の両親は1970年代から、ババの謙虚な帰依者でしたが、20年ほど前に突然訪れた両親の逝去が彼を代替医療へと引きつけました。

自身の経験から、人々が日常生活の中で残念な選択をして人生を台無しにしているのを見ることは彼にとって耐えがたいことでした。多くの人々は、健康な生活に必要な最も基本的なもの、例えば水や空気、日光などは全て自然の恵みであり、神からの、何ら見返りを求めない贈りものである、ということ認識していません。

波動薬の処方を行う時、彼は患者さんひとり一人に、健康維持につながる生活スタイルへの移行を助言するようにしています。

彼が最初に波動薬と出会ったのは2014年12月、サイの帰依者を通じてでした。その名を聞いた瞬間、それは自らの使命であるとわかりました。

2015年4月にアシスタント波動薬実践者として活動を開始。振り返ってみると、これまでの年月は、ババが彼にこの新たな責任を担う心と身体の準備を徐々に授けた期間であると彼は思っています。それによって彼は、人類同朋への奉仕を行うことができ、また、波動薬の活動は、お金をかけることのない健康な生活を唱導するという自らの哲学とまさしく合致するものでありました。

「私はババが実際の癒し手であり、私はただの道具に過ぎないことを知っています。それでもなお、私は、ババがこの高貴な活動のために私を選んで下さったことに誇りを感じています。波動薬との出会いの後に、ババと私の霊的なつながりはよりよいものにできていると強く感じています。この活動は、同朋に対する無私の奉仕と愛を学ぶ格好の場です」と彼は語っています。

以下の処方例の中で彼は、ババに導いていただいていると強く感じました。

紹介されている処方例

- [全身の痛み、心霊作用の影響、低血圧](#)
- [ウイルス性高熱](#)
- [糖尿病](#)
- [頭痛、高血圧、痔](#)



実践者は、コンピューターサイエンスの博士号を有し、デリー大学で現在教鞭を執っています。2015年4月に実践者養成コースを修了しました。彼女は、大学の同僚である実践者 02859...インドに皮膚に関しての波動薬の処方をしてもらったことを通じてこの活動を知ることになりました。約2年前に、顔面にひどい痤瘡(ざそう)《にきびなどの皮膚病》を患い、患部は炎症を起こしていました。皮膚の色も普通とはほど遠く、この症状は首や背中にも広がっていきました。彼女は波動薬を服用し、その他の軟膏や薬は全く用いることはありませんでした。効果はすぐに現われました。2回目の服用の後、顔の赤らみが減り、約2か月で皮膚は完全にきれいになりました。波動薬には副作用がないという事実は、この癒しのシステムについてもっと知りたいという彼女の欲求を駆り立てました。この奉仕活動に携わることに、彼女は特に祝福されていると感じています。波動薬による癒しは、肉体のみならず、

精神、感情、そして霊的側面をもカバーする神聖なものであるからです。これまで彼女が扱ってきた処方例の多くは、膝の痛み、にきび、痤瘡、脱毛です。この活動を始めた頃は、結果についてとても気になっており、患者さんからの再訪や連絡で、症状の改善についての報告を期待していました。潜在意識の中で、患者さんからの良き知らせを待っていたのです。時間の経過とともに、彼女の中で波動薬に対する理解が深まってきました。現在、処方の際には、正しいレメディを選択できるよう、また、結果については無執着であるための修練ができるようスワミに祈りを捧げ、できるだけ多くの人々を助けることができるよう波動薬についてもっと学ぶことができるよう願っています。

以下、CC1.2 Plant tonic（植物の活性）の素晴らしい効果と、それによって波動薬の世界に一步踏み入れることができた喜びの報告です。

（実践者手記）「私は 2015 年 4 月 5 日に 108 のコンボ一式を戴きました。この貴重なコンボを家に持ち帰ったところ、ふと、玄関の階段に置いてあった、鉢植えの花、シャルミア（赤い花をつける季節の花です）に目が留まりました。この数日間、私は立て込んでいたために水やりをしておらず、花は活気がなく、生気を失っているように見えました（下記写真参照、左）『このお花が私の患者さん第 1 号だわ』と思いました。CC1.2 Plant tonic を一滴、1 リットルの水に加えて、そのお花にあげました。」

花が元気を取り戻すのには、数日はかかると彼女は思っていました。翌朝、「患者さん」を見に玄関の外に出てみると、驚いたことに、みごとに回復していました。（下記写真参照、右）

波動薬はトマトにも良い影響を与えてくれました。このトマトは鉢植えのもので、苗の高さが 10～13 cm ほどになった時、**CC1.2 Plant tonic...**（1 週間に 1 回）を、水とともに与えていました。約 1 m ほどまで成長した時、実をつけました。それから、彼女は、上記レメディでの水やりの回数を増やし、毎日行いようにしました。最初の収穫は 9 個のトマトでした。その後すぐに 5 個のトマトができました（下記写真参照）。とてもおいしいトマトでした。



CC1.2 は、ニームの苗にも用いられました。この苗は何度も移植を繰り返していたため、枯れかけていたのです。葉は茶色になり、一枚一枚落ちていきました。実践者は、CC1.2 による水やりを継続的に行い、更には、この苗を撫でたり、抱きしめたりしました。その後 2 週間、この苗は枯れきってしまったかのようにでしたが、15 日目に、一つの枝から新たな緑の葉が芽吹いてくるのが観察されました（下記写真左、参照）。「赤ちゃんが生まれてきたのと同じような嬉しさでした」と実践者は語っています。

実践者はまた、CC1.2 をデリケートな葉蘭の苗の養育にも活かしています。定期的に水やりを行い、陽に当てていたにもかかわらず、葉蘭は、自宅に来てから 4、5 日で完全に枯れてしまったのです。実践者は CC1.2 Plant tonic... (一日 1 回) を 1 週間、後に、1 週間に 3 回処方しましたが、何の変化も見られませんでした。それでもあきらめず継続していたところ、その後、15~20 日してから小さな緑の葉が、枯れた茶色の茎の下の方から出てきたのです（下記右写真参照）。それは感激の瞬間でした。葉蘭は「希望」と名付けられ、波動葉の処方で回復を続けています。



紹介されている処方例

- [喉の痛み、咳、しわがれ声](#)

実践者 11964...インド

1978年に、カダクワスラの国防アカデミーを無事卒業した私は、サイの帰依者の両親に連れられ、シルディとプッタパルティの感謝祭のダルシヤンを求め参拝しました。スワミの両手から流れる祝福はその後の 34 年間続く、インド陸軍での厳しく混乱に満ちた人生を見通していました。私は歩兵として、極めて殺伐とした環境でのいくつかの任務に置かれました。そこでは多くの流血と殺戮が行われましたが、こうした体験の中にあっても、私はスワミの臨在と加護を感じていました。

スワミの導きによって、私はインド陸軍任務となり、私事を超え、国への奉仕の機会を得ました。スワミの恩寵によって、ヴィシスタ・セヴァ勲章をインド大統領から、卓越した任務の表彰として授けられました。また、北部・南部陸軍司令官より、傑出した任務を讃えられ 2 度の表彰も受けました。



2012年 54 歳で陸軍を退官する際（編集者注：大佐としての階級）、実利的な任務の申し出を複数受けました。しかし、私はそれらを全てお断りし、スワミに奉仕する機会を与えて下さいと祈り続けました。私はサイの帰依者の家庭で育ったために、デリーNCR地区の、シュリ・サティヤサイ・セヴァオーガニゼーションでの活動に携わることは自然なことでした。しかしながら、私の奉仕活動は機械的なもので、

(長年、軍隊で慣れ親しんできた行動様式に対する) 認識の変化はなく、霊性面での進歩を示すものはありませんでした。2014年の元旦、私はサイ波動薬のことを知り、実践者養成コースを受講しました。

ジュニア波動薬実践者養成コースを修了し、晴れて実践者となってからは、私の人生は新たな霊的な目的を備え変容し始めました。サイ波動薬の神秘性が次第に明らかになり、その奇跡を目の当りにし始めました。人や植物にレメディの効果が表れるのを見始めました。

2014年12月に行われた厳しい4日間のシニア波動薬実践者養成コースを修了し、私はアガルヴァル博士からサイラムヒーリングマシーンとカードを受け取りました。その後、私は浄化の過程へと導かれました。このプロセスは自身の内側へと深く入り、人生の目的の理解を探究するまたとない機会となりました。この期間、スワミは絶えず患者さんを私に送ってくださり、時には自身の不注意によるミスがあったり迷いながらの処方であったりしたものの、癒やしの手をずっと添えてくださったのです。このことは私達に対するスワミの慈愛と限りない愛をはっきりと示すものです。スワミの愛をもって、ここに、自身の浄化のプロセスを分かち合うことといたします。

2014年12月11日、私はNM25 Shock. (一日3回) を服用し始め、浄化のプロセスを開始しました。6日目には、全身に激しい痛みと割れるような頭痛、心拍数の上昇によって私は倒れました。心拍数は1分間あたり130回、血圧は200/120まで上がりました。そこでNM25 Shock の摂取は中断し、ビブーティをなめ36時間床に臥しました。その後3日経過して、90%の回復がありほぼ正常に戻りました。そこで、NM85 Headache-BP + BR5 Heart + SM11 Blood Pressure + SM15 Circulation... (一日4回) を服用し始め、15年間服用していた高血圧などの対症療法薬を全て止めスワミに全託しました。1週間で、100%の回復となり、NM25 Shock (一日1回) の服用を再開し、徐々に1日3回まで回数を増やしました。

症状が好転し始めた2015年1月の最初の週、私は再びプラシヤンティ・ニラヤムに赴き、アガルヴァル夫妻にお会いしていました。お二人にNM83 Grief... (一日3回) を次の浄化として勧められ、1月15日に開始しました。3日後、まぶたが重く感じられ、日中でも睡眠を取りたくなり、次の2日間をほとんど寝て過ごしました。起きる毎に力がみなぎってくるのを感じました。2月の第1週までに完全な健康状態を感じ始めていましたが、埋もれていた古傷が表面上に出てきました。それは1990年バスケットボールをしていた時に腰の椎間板ヘルニアを少し患ったものでした。その時は、ヨガや指圧、対症療法薬によって症状は抑えられていましたが、今、またなぜか、左足に沿って坐骨神経症の激しい痛みがあり、膝もとても繊細な状態で、足を動かすこともできなくなったのです。また、背中にも痛みがあって腰から曲げることができませんでした。MRIによって、腰全体の円板が突出していることがわかりました。痛み止めと神経鎮静剤の服用が勧められました。私はそれを断り、代わりにビブーティと以下のレメディを服用し、2か月もしないうちに回復を遂げたのでした:

NM3 Bone Irregularity + NM6 Calming + NM21 KBS + NM24 Rheumatism & Arthritis + NM40 Knees + NM54 Spasm + NM113 Inflammation + OM16 Knees + OM30 Connective Tissue + SM33 Pain + SM36 Skeletal + SR271 Arnica + SR421 Bach Flower Cerato + SR479 Cartilage + SR500 Intervertebral Discs + SR510 Muscles + SR517 Parathyroid + SR540 Vertebrae...一日3回

これと並行して、浄化のプロセスも継続させ、NM72 Cleansing... (一日3回) を摂り始めました。ババの恩寵により、今日まで症状の再発はありません。こうして、自分自身でレメディの効果を実感したことは波動薬に対する信を強めることになりました。強制的に身体を休めることで生まれた時間に、自然療法ソーハムシリーズの全巻を含む波動薬のテキストを学び直すこともできました。最も重要なこととしては、セヴァを継続することができ、定期的に患者さんに対応することができるようになったことです。新たな患者さんとの出会いは、私に波動薬に対する更なる視点を授けてくださいます。波動薬の奉仕活動を始めて1年以上が経過し、その間、私の人生は完全に変容しました。朝1時間、夕方1時間自宅を開放し、患者さんに対応しています。この時間には、電話であらかじめ予約を取った患者さんもやってきます。近所の方々の中には対症療法薬から完全に波動薬へと切り替えた家族も複数おられます。私はまた、都会のスラム街で週に2回クリニックを開いています。その時には、サイの帰依者の自宅の一室を利用させてもらっています。スワミの恩寵によって、波動薬の奉仕活動を実践することは私の人生に新たな意味を与えてくれ、私の存在の唯一の目的となりました。それは愛によるセヴァであり、1週間の7日間、一日24時間続く活動です。大変うれしいことに、シニア波動薬実践者コースの修了後、アガルバル博士の促しによって、妻が私のアシスタントとしてこのセヴァに加わり、共にチームとして現在活動するようになり

ました。

スワミから贈られた方々に手を差し伸べることにふさわしく、私達をスワミの純粋な愛、光、癒しのエネルギーの導管としてくださいますよう、敬愛するバガヴァンに祈りを捧げます。

紹介されている処方例

- 慢性の喉の痛み、足首の痛み、ほてり
- 脳萎縮びまん、鬱
- パニック発作、癲癇

☪ 質疑応答コーナー ☪

1. **質問:** 私の患者さんに記憶障害を患っている方がおられます。アルツハイマーの初期症状ではないかと感じています。**CC17.3 Brain & Memory tonic** の処方で充分でしょうか？あるいは、アルツハイマーに対する処方を行った方がよろしいでしょうか？

回答: **CC17.3 Brain & Memory tonic** のみならず、**CC18.2 Alzheimer's disease** も共に処方した方がよいでしょう。それによって、アルツハイマーの予防にもつながります。こういったケースで、もし、含めるべきかどうかで迷った場合、含める方を選択するのが良いと思われまます。

+++++

2. **質問:** あまりにも長い時間、処方した波動薬の容器の蓋をせずに放置した場合、その波動は消失・もしくは蒸発してしまうのでしょうか？例えば、舌下への服用を準備しつつ、肝心の本人（自分の子供）がいなくなって家の中を探しまわっている時などです。

回答: いいえ、波動は砂糖粒に浸透しています。実際のところ、一つの容器に間違っても何滴もレメディの原液を入れたり、あるいは、必要なコンボをたくさん入れたりして、あまりにアルコールの量が多すぎる時は、わざと、蓋をせずに余分なアルコール分が蒸発するのを待ちます。

+++++

3. **質問:** レメディの処方は、患者さんの目の前で、もしくは別の部屋で行いますか？

回答: 108のコンボを用いる場合には、患者さんの目の前で処方しても何の問題もありません。しかしながら、サイラムヒーリングマシンの場合には患者さんのマシンに対する印象（偏見などの有無）によります。患者さんによっては、マシンの使用によって、波動薬の神秘性が奪われるような状況になったりすることもあるでしょう。疑い深い人に対しては別の部屋で処方した方がよいかもしれません。

+++++

4. **質問:** 処方歴の記録の際、もし、実践者自身が患者であった場合、その旨の記入もしくは年齢などの詳細についても記すべきでしょうか？

回答: 実践者は患者としての記録を残す必要はないのですが、患者としての立場に自らを置くことで、その記録自体が客観的なデータとして活かされることとなります。その場合、通常のそれに比べより具体的に正確なデータが得られることでしょう。特に感情的な体験などの領域においてはなおさらです。

+++++

5. **質問:** 実践者と医師との違いは何でしょう？ よく、私達実践者は医師とは異なる、といわれますが、実際のところ、どのような意味なのでしょう？

回答: 医師とは、通常、長期にわたる公式な訓練を受け政府の公的機関によって薬剤処方を行ってよい旨の許可を有する人を意味しています。ご存じのように、私達の処方するレメディには化学物質や薬草のエキスなどが含まれていません。それゆえ、対症療法薬を通常扱っている医師とは区別し、混乱しないよう波動薬実践者としての名称で奉仕活動を行います。

+++++

6. **質問:** 多くの人は水銀を含むアマルガムを虫歯の詰め物としています。金属としての水銀は、波動薬の処方の際には妨げとなることはないのでしょうか？年配の患者さんの一人は金属のクリップを持つ入歯をしています。このことの波動薬への影響についても教えていただけますか？

回答: 他の金属と同じように、水銀は通常、波動薬の効用に影響を及ぼすかもしれません。現実の問題として、多くの患者さんが歯にこうした詰め物や金属製のブリッジをしていますが、実際の波動薬の処方では、そうした状況であったとしても同じような効果が得られています。レメディが舌下に置かれるとすぐに、波動は体内に吸収されます。

+++++
7. **質問:** 波動薬の奉仕活動とは別に、患者さんに全くの無料で他の奉仕も行っています。患者さんの中はただ相談に来る人もいて、私は話を聞き助言を行います。他の患者さんはレイキなどの特定の治療法を求めてこられます。こうした時間もやはり奉仕活動として月次報告書の中に奉仕の時間として含めてもよろしいでしょうか？

回答: 月次報告書は波動薬のみに関するセヴァの時間に関わっています。従って、他の療法によるセヴァの時間は含まれません。しかしながら、もし、波動薬の処方に関連して患者さんの話を聞いたり相談にのる場合には、この限りではありません。

+++++
8. **質問:** 患者さんが何らかの症状のために実践者を訪れた際、実践者の側で別の症状（例えば、おでこの突起物など）に気づいたとき、それに対する波動薬の処方も提案すべきでしょうか？それともそれに関してはババに祈るだけでよろしいでしょうか？

回答: 行為者はババであるため、日常生活のあらゆる局面においても、またすべての処方に於いて、ババに祈り、道具である「私」を見つめるべきでしょう。患者さんに何をどのように言うかは患者さんとの心のつながり如何です。もし、患者さんをよく知っているのなら、優しく、親切に他の症状について尋ねることもできるでしょう。ただ、個人的な繊細な事情があることにも注意しなければなりません。頭やおでこの腫物、突起物は、患者さんの心の中ではあまり人に気付いてもらいたくないもの、あるいは、悪性の腫瘍、あるいは、また家庭内暴力によるものであるかもしれません。もし、患者さんのことをよく知らず、親しくない場合には、そうした症状に関しての発言は控えた方がよいでしょう。患者さんがあなたに、そして波動薬により多くの信頼を寄せてきた後がよいでしょう。

+++++
9. **質問:** 108のコンボのガラス容器の蓋部分のゴムの開閉がスムーズにいくように、その内側にオリーブオイルを注すことは可能でしょうか？

回答: 容器内のレメディ原液にオイルが入ってしまう可能性があるため、それは避けた方がよいでしょう。コンボの容器の開閉を楽にする方法としては、蓋のゴム部分を一方の手で固く持ちながら別の手で容器本体を回して行う仕方があります。実際の様子はこちら [Click here](#) をクリックしてください。

+++++
10. **質問:** コンボの容器は用いる前に振るべきではないと言われたことがあります。それは本当ですか？

回答: いいえ、その逆です。処方の前に容器を振ることは常に理に適っています。108のコンボのボトルに関しては、8の字の形での振り方ではなく、ボトルを垂直に持って他方の手の平に当てて叩くようにして振動を与えます。マスターボックスからのチャージの際には、ボトルを振らないようにとの指示があるかもしれませんが、それは単に、時間を節約するためです。ほとんどの実践者は移動を伴ったセヴァをしているので、その場合には、どちらにしても、振動は与えられることとなります。

☞マスターヒーラーからの御言葉☞

「ゆでた種を地中に蒔いても、その種は芽を出すことはありません。であるなら、どうして、そのような（調理をされた）ものが生活への活力を与えるものでありうるのでしょうか？ビタミンやタンパク質は価値のある栄養素ですが、人々の舌を喜ばせるために、それらが調理という過程を経ることによってその価値が失われてし

まうのです。調理されていない食物、ナッツや果物、スプラウト（発芽した種）が最良の食べ物です。少なくとも、1日のうち1回の食事には、例えば夕食などに、こうした食物を摂りなさい。そうすることで、寿命を延ばすことができます。長寿の希求は、得られた年月が同朋への奉仕に活かされることを目的とすべきです。」

... ..サティヤサイババ 1981年9月30日御講話「健康と善」

<http://www.sssbpt.info/ssspeaks/volume15/sss15-21.pdf>

+++++

「あなたは奉仕に従事すべきです。実際、あなたに与えられた手は同朋に奉仕するためにあるのです。奉仕する手は祈る唇よりも神聖です。それゆえ、無私の奉仕を行い、栄光を手に入れなさい。良い活動に従事する時、あなたの人生は聖なるものとなりあなたは平安を実感することでしょう。」 ...サティヤサイババ 2004年1月1日御講話「人への奉仕は神への奉仕である」

<http://www.sssbpt.info/ssspeaks/volume13/sss13-22.pdf>

お知らせ

- ❖ 米国、ウエストヴァージニア州、ステフェルズタウン: シニア波動薬実践者ワークショップ2015年9月18-20日、アシスタント波動薬実践者ワークショップ、2015年10月16-18日、連絡先:スーザン trainer1@usa.vibrionics.org
- ❖ ポーランド、ブロウクロウ: 2015年9月19日 **ワルシャワ** 2015年10月3日、リフレッシュャーセミナー、連絡先:ダリウス wibronika@op.pl
- ❖ 英国、ロンドン: リフレッシュャーセミナー、2015年10月4日、連絡先:ジェラム jeramjoe@gmail.com、電話 020-8551 3979
- ❖ フランス、ツール: リフレッシュャーセミナー、2015年10月10日、連絡先:ダニエル trainer1@fr.vibrionics.org
- ❖ イタリア **パドヴァ、ヴェニス**: シニア波動薬実践者ワークショップ2015年10月16-18日 連絡先:モリス monthlyreports@it.vibrionics.org
- ❖ インド、プッタパルティ: アシスタント波動薬実践者ワークショップ、2015年11月18-21日、連絡先:へム 99sairam@vibrionics.org

付記事項

2015年4月4-5日 デリーに於ける、アシスタント波動薬実践者ワークショップ

デリーNCR世話人 [02859...インド](mailto:02859...@india)による報告:



参加者は実践面での学習へと移りました。模擬的なクリニックを開き、参加者が実際の症例に接し

アシスタント波動薬実践者ワークショップが2015年4月4-5日、インド・デリーにて開催されました。通信講座を無事修了した6名の参加がありました。波動薬の理論的側面を復習した後、



処方を行いました。アガルバル博士はスカイプを通じて受講者とのやりとりを行いました。このスカイプでの対話は2時間フルに活用され、その間、通信トラブルもなく、継続して行われました。全てが神の意図されたものであることが実感されます。

その後、新しい実践者の108のコンボがチャージされました。ワークショップの会場全体に、オーム・シュリ・サイラムの詠唱が鳴り響き、大いなるエネルギーが会場を満たしました。コンボボックスが授与されると、受講者全員が歓喜しました。

[編集者注: このワークショップでのトレーニングを修了した実践者は、本通信の中でそれぞれの実践者プロフィールとして紹介されています]

フランスでの最初のアシスタント波動薬実践者ワークショップ、2015年6月21-22日

フランス全国世話人 01620...フランス による報告:

2015年6月21-22日、フランスとベルギーからの3名が、事前の通信講座を完了し、フランス、ツールで行われたアシスタント波動薬実践者トレーニングを受講しました。3名の受講生は、3名の波動薬教師によって教えられたため、ほぼ、マンツーマンでの講座となりました。筆記テストの結果は全員が合格でアシスタント波動薬実践者の資格が授与されました。実際のワークショップでは、パワーポイントを用いて大きなスクリーンで映し出し、後ろからも良く見えるよう配慮しました。初日の夜には、特別なトレーニングセッションを設け、108のコンボテキストを配布し、その使い方について説明した後、受講生は受講申込書に記載したうちの症例の内一つを取り上げ、適切な形で書き直すという練習を行いました。このトレーニングには、実際の処方の際に用いようとしたコンボをこの時点で見直してみる、という意図もありました。



翌日、前夜に書き出したものを発表し合いました。その後、それぞれの（疑似）処方例の内容について話し合いましたが、このことによって受講生は実際の処方に慣れる機会を持ち、適切なコンボを選ぶ体験を得ることができました。ワークショップ期間中、菜食の食事が用意され、たくさんの野菜と果物が受講生に提供されました。こうした食事の実例により、健全な食生活と生活スタイルの実践に向けての理解を深めました。

全員が歓びの中で講習を終えた後、アガルバル博士とのスカイプを用いた長時間のインタビューを受けることができました。3名の新たな実践者は極めて熱心で能動的なセヴァの実践に準備万端となっています。



2015年8月16日、英国、エセックス、イルフォードで行われた実践者会合のまとめ

この報告は**実践者 02899...英国**、**実践者 03507...英国**、**実践者 03510...英国**によって記述されたメモを元に

英国全国世話人 02822...英国によってまとめられました。

召集者でもある全国世話人が、2名のスカイプを通じた参加者を含む合計15名の参加者の出席を歓迎し感謝を述べました。開会の前に、この癒しの科学を授けて下さったスワミへの感謝が捧げられました。

以下抜粋となります：

1.0 処方例の書き出し

1.1 処方記録のためのガイドライン

詳細についてはこちらをクリックしてください。 [click here](#) (ユーザー名とパスワードを用いて、波動薬ウェブサイト www.vibrionics.org にまずログインする必要があります)

1.2 提出する処方例の備えるべき要件

これは、波動薬通信7.8月号で言及されていたものの敷衍です。提出対象となるのは、特別な処方例に限られず、基本的な通常のケースをも含むことになります。実践者のみなさんは患者さんの処方記録を確認し、該当する処方例をお送りください。

2.0 患者さんの受け入れと面談中のスワミへの集中と繋がり

グループ討議に基づく提案

2.1 面談・処方準備

- マインドを浄化し、マインドとハートの焦点をスワミに置く
- 自身が平安でいて否定的な波動を発していないことを確かなものとする
- 否定的なエネルギーからの神の加護を受けられるよう祈り・瞑想する

2.2 患者さんにリラックスしてもらう

- 患者さんの訪問の際には温かくお迎えしくつろいで安心した雰囲気とする
- 女性の実践者は女性の患者さんの横に座り、親しさと信頼を築く助けとすることが可能

2.3 患者さんの話に耳を傾ける

- 患者さんに口を開いてもらい、忍耐強く話を聞くようにします。心の奥にしまってある感情を打ち明けてもらえるよう患者さんに心を開いてもらい、それに対して忍耐を持って接することは、癒しの最も重要な側面です。
- 患者さんとの面談は質の高いものとし、集中を切らさないようにします。
- 思いやりの心で耳を傾けることによって、埋もれていた多くの事柄が明らかにされていきます。このことによって、癒しのプロセスが引き起こされます。

2.4 スワミと繋がる

- 患者さんの話を聞いている時、スワミとのつながりを維持する
- 内なるスワミの導きを聞く
- 自らが、「内なるスワミとして」患者さんの話を聞き、スワミに面談全体について全託する

2.5 家族vs個人の面談

家族全体との面談は、患者さんにとって、それ以前には話せなかった家族の人に悩みや問題を打ち明ける機会となるかもしれない一方で、1対1の面談は患者さんの心をより大きく開かせることになるかもしれません。

3.0 本セッションにおける質疑応答

3.1 質問: オポノポノの言葉「ごめんなさい、許してください、ありがとうございます、愛しています」を患者さんに勧めています。この言葉は誰に対して向けられる言葉なのでしょうか？（編集者注：この言葉はオポノポノのマントラで、赦しと和合、包括的な人格の癒しを実践するハワイ先住民に伝統的に伝承されているものです）

コメント:

- この言葉は特定の個人に向けられるものではなく、宇宙全体、普遍的なものに対するものです。
- この言葉は魂に対するものです。あなたの人生は、自らの、思い・言葉・行動、生活習慣の結果です。5感の誤用によって自らの本質に相応しくないもの、記憶が蓄積されてきました。上記の言葉はマインドや感情の否定的な記憶を浄化することを助けます。
- これらの言葉を思い・発することで、人生に起こる全てのものごとに対する全責任を受け入れていることになります。自らの過ちを認め、それを赦し、愛に焦点を当てることで浄化と癒しが起こるのです。

3.2 Q 質問: 頭痛に関して、患者さんがその痛みをうまく表現できない時には、処方はどうしたらいいのでしょうか？

コメント: **CC11.3 Headaches** と **CC11.4 Migraines** の双方を加えてください。

3.3. 難しい症状についての話し合い: 根深い嫉妬に取りつかれている女性

ある患者さんが、多くの優れた面に恵まれている義理の姉妹に深い嫉妬を抱いていました。波動薬と併用して、以下の複数のアプローチが提案されました:

- オポノポノの言葉を唱える(上記参照)
- マインドの浄化を行う: 目を閉じて3回深呼吸をし、ホワイトボードをイメージします。そのホワイトボードに全ての否定的な思いを書きだし、そしてそれらを全部消し、真っ白なホワイトボードだけが残るようにします。これは否定的な思いが消え去ったマインドの象徴です(出典:スリカント・ソーラ、「黄金時代のワークショップ」)
- 低我を責め裁くことなく受け入れること、本当の自分と何かを思うこと、真我への信頼。義理の姉妹に現れている性質は、患者さん自身の美しい性質の反映に過ぎないこと。その他の有益な実践法:瞑想・スワミの教えを読む・その他の霊性に関する書物(マイケル・ブラウンの「Presence Process」の名も挙げられました)積極的思考の力の利用(ルイス・ヘイなど)
- フィリス・クリスタルのハートリボン技法: 目を閉じて、3回深呼吸。あなたの好きな神の御姿のハートから輝き出ている黄金の光のリボンをイメージ。そのリボンが神とあなたのハートを結ぶのを観ます。次にその同じリボンがあなたのハートから出て行って、あなたが否定的な思い、怒りや恨みを持っている人のハートを結び、更には、その人のハートからその同じリボンが、元の神のハートへと戻っていくのを思い浮かべます。これによって黄金のリボンの三角形が完成し、さらに、次々と無限に三角形が結合することによって、一人ひとりが神から等しく愛を受ける存在であること、全てが神・愛の表れであることが理解、実感認識されます。

3.4 様々な病気への対応(実践者による話し合い)

話し合いの中で推奨されたもの:

3.4.1 怒りや怖れ

CC4.2 Liver and Gallbladder tonic + CC4.10 Indigestion + CC13.1 Kidney & Bladder tonic.を加えるとよい。

3.4.2 睡眠障害に対して

- CC10.1 Emergencies + CC15.1 Mental & Emotional tonic + CC15.6 Sleep disorders…就寝の30分前、もし、必要であれば、30分毎に更に2回
- もし、精神的な問題が絡んでいるのであれば、add CC15.2 Psychiatric disorders + CC18.1 Brain disabilities.を加える
- SM2 Divine Protection は単体での処方でも効果を示している。時に CC18.1 Brain disabilities も加えられた

3.4.3 癲癇

CC10.1 Emergencies + CC12.1 Adult tonic + CC18.1 Brain disabilities + CC18.3 Epilepsy.

3.4.4 糖尿病

- 糖尿病のレメディにCC13.1 Kidney & Bladder tonic を加える
- 症状が治まってきても、波動薬の服用を中止しないよう患者さんに伝える。対症療法薬を減らせるかどうかを医師と話すよう依頼する。
- ビスケット・パン・砂糖の入っている食物への嗜好へ後戻りしないよう伝える。身体が最終的に回復するには数年かかることがあるため。その間、患者さんは波動薬のレメディの服用を継続。
- スプーン小さじ1杯のシナモンパウダー、ヨーグルト、ニンニクを朝摂取する。45分の吸収時間を設けて、その後、日常の活動を開始する。

3.4.5 臀部にまで広がる背中での痛み:

- CC20.5 Spine が適切
- 金銭的な問題、悩み、ストレスなどが絡んでいたとしたら、CC15.1 Mental & Emotional tonic CC4.2 Liver & Gallbladder tonic + CC13.1 Kidney & Bladder tonic.も加える

3.4.6 精神・身体関連症状:

CC15.1 Mental & Emotional tonic + C15.2 Psychiatric disorders + CC17.3 Brain and Memory tonic.

3.5 特定のコンボに関するコメント:

3.5.1 CC17.2 Cleansing

- このコンボは好転反応を引き起こすことがあるため、患者さんの症状の完治時、もしくは少なくとも70%近くまで回復して初めて処方すべき。
- 患者さんの外的環境の浄化のためには、何の問題もなく、症状の治療の初めに用いることができる。

3.5.2 CC12.1 Adult tonic

身心の強化のため初期に用いられても効果的。

オームサイラム

ジェイサイラム!

サイ波動薬...誰にでも手の届く卓越した無料の医療を目指して